

潮干狩り



ながす議会だより No.117



平成26年3月定例会

26年度 一般会計予算を可決 ②

一般質問 12人が登壇し町政を問う ⑦

常任委員会視察研修報告 ⑱

長洲産あさりのみそ汁おいしいよ!

5月3日 長洲海岸潮干狩り

2014年
5月発行

づくりを 61億9000万円

賛成多数で 可決

賛成11:反対2

平成26年第1回定例会は、

3月12日開会し、19日まで開かれた。

慎重審議のうえ

全議案可決された。

主な質疑・歳入

問 (竹本議員)
歳入の増を図るに

は、国・県の新規事業
及び補助金の取り込み
に努力すべきだ。

答 (まちづくり課長)
国・県の事業情報
をいち早く得て、予算
取りに向け積極的に取
り組んでいきたい。

問 (市原議員)
一般寄附金(ふる
さと納税)は、どのよ
うな推移で件数が伸び
ているか。また、寄附
金をいただくためにど
のような努力をされて
いるか。

答 (まちづくり課長)
25年度は、24件1
45万円と件数も額も
伸びている。今後も宣
伝、普及活動に努力し
ていきたい。

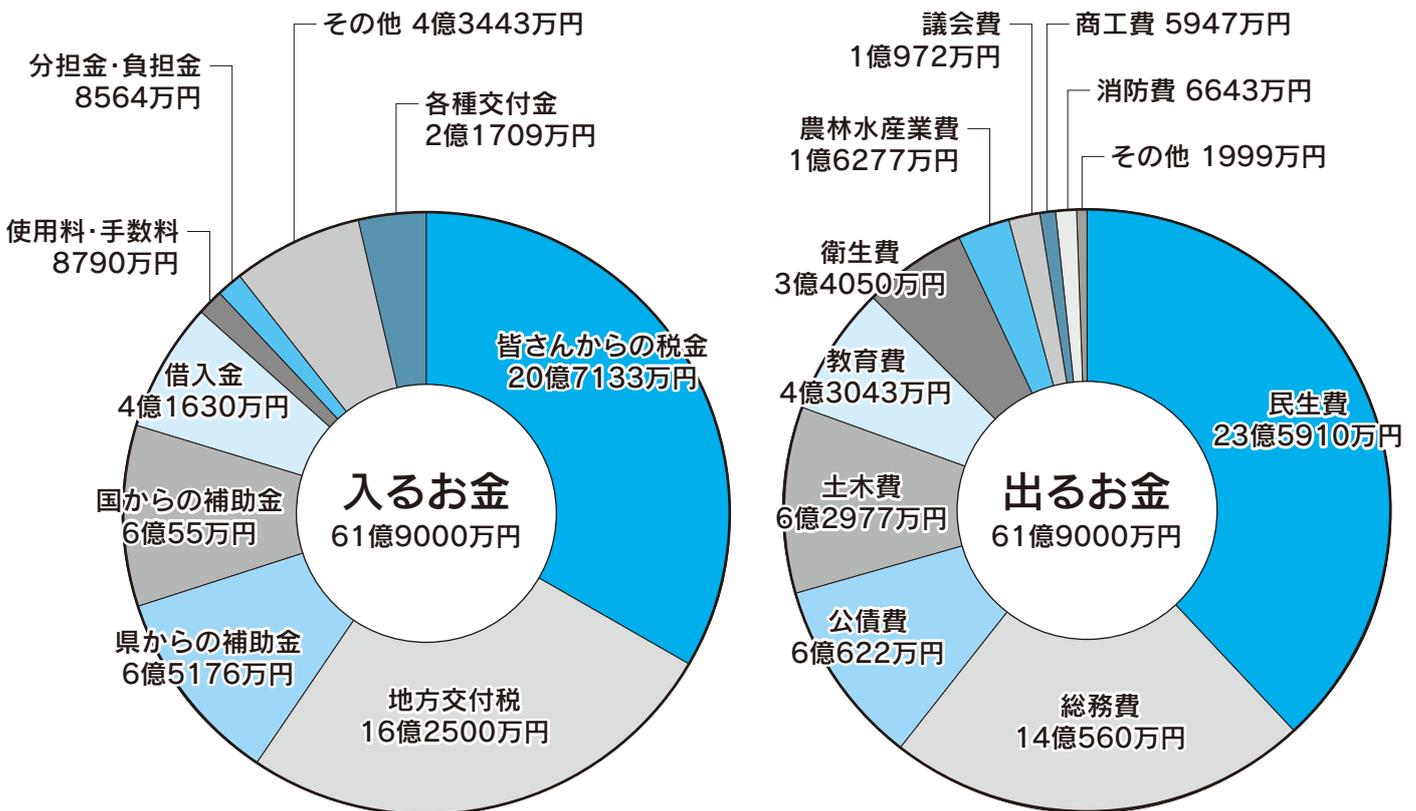
問 (福永議員)
法人町民税の減収
が見込まれているが、
今後の見通しは。

答 (総務課長)
大手企業の統合に
よる影響でここ2〜3
年は厳しい状況が続く
と思う。

問 (濱崎議員)
町有地の売却につ
いては、町税が増にな
るような方法をとるべ
きでは。

答 (町長)
一定の面積がある
町有地は、代替地とし
て売却することも今後
検討していきたい。

平成26年度一般会計予算の内訳



未来につづくまち

平成26年度一般会計予算

総額

主な質疑・歳出

総務費

- まちづくり
- 徴税
- 公共交通
- 男女共同参画



のために

14億560万円

問 (町長)
町が発展していく上で、重要課題と認識している。いろんな機会を通して研修を行いたい。

答 (磯野議員)
空き家対策は喫緊の課題だ。

問 (まちづくり課長)
条例制定や空き家活用、また老朽化した危険な空き家への対応など、その適正管理に取り組んでいきたい。

問 (浦辺議員)
道路、水道、下水道の配管などの位置情報は集約されているか。

答 (総務課長)
GISシステムを導入し関係課で使用している。台帳の統合に関して検討したい。

問 (市原議員)
有明広域への負担金が1600万円程増えている。構成市町の人口は減り続けているのになぜか。

問 (荒木議員)
町の重点施策にも掲げられているように、職員の資質向上に力を入れていただきたい。

答 (総務課長)
人件費は9億9700万円、対前年比1530万円の減である。行財政改革と職員数の減少が要因だ。

答 (総務課長)
ごみ焼却場の修繕や燃料費の増、また消費税も影響している。経費削減に努めている。

問 (福永議員)
今回、法人企業への税の還付金(9300万円程度)が見込まれている。なぜ、予定納税で納められた税額に、還付加算金(100万円)まで付けて返さなくてはいけないのか。

答 (税務課長)
25年度の予定申告で、法人割額の9300万円程の納付があったが、26年3月の企業の決算において法人割額が見込めないということ、還付となったこと、還付加算金については法律で定められており、いたしかたない。

問 (濱崎議員)
有明広域への負担金5億6千万円について、町議会では今、審議をしているのに、有明広域議会の方では、すでに議決されたと聞く。どういうことか。

答 (町長)
今現在、このような制度になっている。指摘を真摯に受け止め、今後、組合議会とも議論していきたい。

答 (福永議員)
保育所に勤めている職員の賃金改善の補助金として623万円計上している。また資質の向上については、町でも、各園独自でも研修会を実施している。

問 (樋口議員)
地域療育センター事業の内容は。

答 (福祉保健介護課)
玉名の障害児通所施設で事業を実施している。内容は療育相談で、在宅の障がい児、保護者に対する相談支援が主。町内には療育手帳を所持されている方は1335名。

問 (福永議員)
町内の保育所4園が25年度に民営化されたが、財政的なメリツトは出ているのか。

答 (子育て支援課長)
今現在で、24年度との比較をした場合、5600万円程の効果額が出る見込みだ。

民生費

- 児童福祉
- 高齢者
- 障がい者
- 子育て支援
- 介護予防

のために

23億5910万円

問 (福本議員)
保育士の処遇改善

商工費・農林水産業費

5947万円 1億6277万円

- 商業の振興
- 町のPR

のために



問 (濱村議員)
向野区のショッピングセンターが閉店し、半年近くなるが現状は、

答 (まちづくり課長)
空き店舗等も活用した事業予算の計上がないとの御意見かと思うが、現在のところいろいろな話はあるが、出店までは至っていないことだ。六栄校区の人口を考え、出店に向けた努力を続けていく。

問 (徳永議員)
耕作放棄地対策事業費補助金とあるが、場所はどこか。

答 (農林水産課長)
町内には約66ヘクタールの耕作放棄地があり、現状として、耕作道路がない畑地が主な地区になる。国と県と町の補助金10アール当たり9万円を活用し、耕作放棄地が発生せぬよう推進していく。

その他の予算

- 議会費 (行政監視) 1億972万円
- 衛生費 (地域医療) 3億4050万円
- 消防費 (防災) 6643万円
- 公債費 (借金返済) 6億622万円

のために

◆ 反対討論
大森 秀久議員
この予算、努力され頑張っている点は評価する。一方で、中学3年生までの医療費、取り組めないものではないと考える。長洲港改修事業費負担金は2割のままであり、工場等振興奨励金、本当に必要なのは地元の中小零細業者の方である。以上の観点から反対を表明して、討論とする。

● 賛成討論
磯野 博議員
緊急行財政行動計画の最後の年でもあり、大変なご苦労があったと拝察する。
第5次長洲町総合振興計画に掲げる施策の推進や多様な住民ニーズに的確に対応するために重点を置いた予算編成が行われていると認識し賛成する。

教育費

- 子供の教育
- 文化・スポーツの振興
- 生涯学習の振興

のために



4億3043万円

問 (福本議員)
教育振興計画策定委託料とは。

答 (学校教育課長)
教育基本法第17条で地方公共団体においては、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるようにうたっており、管内で定めているのは玉名市だけだが、新年度に長洲町と荒尾市が策定の予定だ。

問 (荒木議員)
読書活動日本一運動だが、何をもって日本一運動とされるのか。

答 (教育長)
数字的には貸し出し、子供たちが読む本が多いほうがいいかなと思う。本年度、学校推進員さんと図書主任の連携を深め、良書を選んで、中味とか冊数とかで頑張っていくと思う。

問 (宮本議員)
総合スポーツセンター費のその他施設修繕とは。

答 (生涯学習課長)
体育館、プール、艇庫等の施設が老朽化しており、その意味での修繕費として計上しているものだ。

土木費

- 道路
- 河川・港湾
- 公園
- 公共下水道会計への繰出金 (3億9482万円)

のために



6億2977万円

問 (浦辺議員)
都市計画道路見直し検討業務委託料だが、これはどういう見直しが予定されているのか。

答 (建設課長)
平成24年度から県北の都市計画区域の道路の幅員を見直すことになり、長洲町では赤田・上沖洲線の幅員見直しとして検討資料の作成を計上させていただいた。

平成26年度
予算内容を徹底チェック!!

会計	平成26年度 当初予算額	平成25年度 当初予算額	増減額	増減率	
特別会計	国民健康保険	21億6980万円	21億 200万円	6700万円増	3.2%増
	介護保険	17億2530万円	16億7080万円	5450万円増	3.3%増
	後期高齢者医療	1億8780万円	1億9760万円	980万円減	5%減
	公共下水道	10億9000万円	9億8040万円	1億 960万円増	11.2%増
	浄化槽施設整備	1500万円	1320万円	180万円増	13.6%増
企業会計	水道事業 (支出合計)	7億8286万円	3億6401万円	4億1885万円増	115.1%増

国民健康保険

〔内容〕
歳入歳出それぞれ
21億6980万円

〔主な質疑〕

〔問〕(大森議員)
国保税が高いと言
う住民が多いが…。

〔答〕(福祉保健介護課長)
国保税の状況とし
て、軽減世帯が約55%
程度ある。

〔問〕(町長)
国民皆保険制度を
維持するには、国へ改
革、補助率のアップを
働きかけていく。

〔答〕(副町長)
歳入歳出それぞれ
17億2530万円

〔問〕(福本議員)
一次、二次予防事
業の違いは。

〔答〕(福祉保健介護課長)
一次予防事業は、
要介護状態にならない
ように、脳トレ、デイ
サロンや講演会。二次

〔問〕(副町長)
放置していたのは
行政の責任であるので、
今後、現実的かつ効率
的な業務実施要領を考
え、再発防止に努める。

〔答〕(副町長)
歳入歳出それぞれ
10億9000万円

〔問〕(大森議員)
し渣、沈砂処理業
務の委託料が発生して
いるが、なぜ今まで放
置していたのか。

〔答〕(副町長)
歳入歳出それぞれ
1億8780万円

〔問〕(大森議員)
後期高齢者医療
費増11 反対2 可決

〔答〕(副町長)
歳入歳出それぞれ
1億8780万円

〔問〕(大森議員)
公共下水道
費増12 反対1 可決

予防事業は、運動・口
腔、栄養機能改善事業。
費増11 反対2 可決

〔内容〕
歳入歳出それぞれ
1500万円

〔問〕(福永議員)
未給水区域に取り
組む姿勢は前向きだ。
今年度の予定は。

〔答〕(水道課長)
本年度9世帯の解
消の予定である。今後
も努力していく。

〔問〕(副町長)
歳入歳出それぞれ
3億8607万円

〔問〕(副町長)
歳入歳出それぞれ
7億8286万円

〔問〕(副町長)
歳入歳出それぞれ
3億8607万円

〔問〕(副町長)
歳入歳出それぞれ
7億8286万円



条例の改正

●長洲町社会教育委員条例の改正
 〈内容〉
 社会教育法改正のため。
 全員賛成可決

その他の議案

●土地改良事業に伴う経費の賦課の基準ならびに方法
 〔宮ノ下揚水ポンプ場改修〕

事業費 2685千円

賦課金額 673千円

徴収時期 平成27年3月31日まで

徴収方法 一括徴収

全員賛成可決

〔西堤改修〕

事業費 2438千円

賦課金額 611千円

徴収時期 平成27年3月31日まで

徴収方法 一括徴収

全員賛成可決

●土地改良事業に伴う経費の賦課の変更

〔下鴻ノ池改修〕

変更前 1250千円

変更後 1226千円

全員賛成可決

〔二丁田堰改修〕

変更前 6000千円

変更後 5941千円

全員賛成可決

平成25年度 一般会計補正予算

全員賛成可決

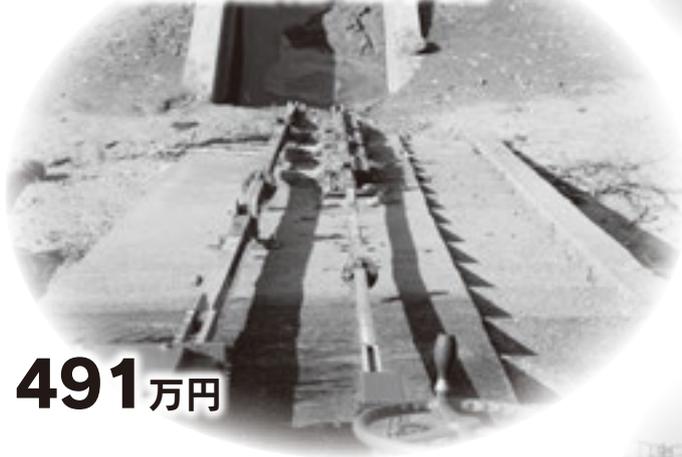
国の財源を
有効活用

障害者自立支援介護給付費・
訓練等給付費追加



1,059万円

農業用施設改修工事費



491万円

長洲港改修事業負担金追加



1,650万円

事業名	補正額 (万円)
地域の元気臨時交付金基金積立金追加	888
介護保険システム改修保険料	145
道路改良工事費	△535



長洲ブランド化を



大森秀久議員

農漁業の第6次産業化をどう考えるか 答 地域のビジネス展開や、新産業を創出するもの

問 農漁業の町としての取り組みが示されているが、農漁業を基幹産業と位置づけているか。

答 (町長) 農漁業の振興は今後の町の発展に欠かせないという信念のもとに積極的な取り組みを考へており、その意味で農漁業は基幹産業として位置づけている。

問 農林水産省が進める第6次産業化をどう考えているか、長洲町での可能性と後継者の育成を含めてどう考えるか。

答 (町長) 第6次産業化とは第1次産業としての農林漁業と製造業(2次産業)を融合連携させることにより、農林水産物その他の資源を

さまざまな産業と連携活用し、付加価値を生み出す地域ビジネスの展開や新産業を創出するものと認識し、果物や農産物から長洲ブランドを生み出すことが、本町における第6次産業化と考へている。

ミニトマトの普及振興やあさり貝の品質向上を図る取り組みが第6次産業として確立していけば、各分野での生産者の所得が向上し、後継者不足といった課題の解決策につながると思へる。

非正規労働者の賃金をあげることが必要

アップを要望しているところと思つている

問 町の経済を活性化するうえで、町内に拠点を置く大手事業所の経営担当者に非正規雇用の方の賃金アップを働きかけるべきと思つたがどう考へるか。

答 (町長) 町で実施している企業動向調査では、非

正規雇用者数が688名(17.9%)で前年比でほぼ横ばいとなっている。正規雇用の増加に向けて就職説明会、求人の情報提供など若者の就業機会の提供を図り、正規雇用につながるよう町内企業に働きかけを行つていくと

発達障がいを持つ児童への支援を

厳しい財政のなかだが努力する

もに、町内の企業の非正規雇用の方に対しては、できる限り賃金上

昇に関して、アップを要望していると思つている。

問 発達障がいを持つ児童に対して、町として3〜4年の実務経験があり、教員と精神保健福祉士の資格を持つ人を臨時で雇用される考へはないか。

答 (学校教育課長) 26年度につきましては、厳しい財政状況のなか、いろいろ努力して11名の支援員を配置できるよう願っている。



楽しい授業風景



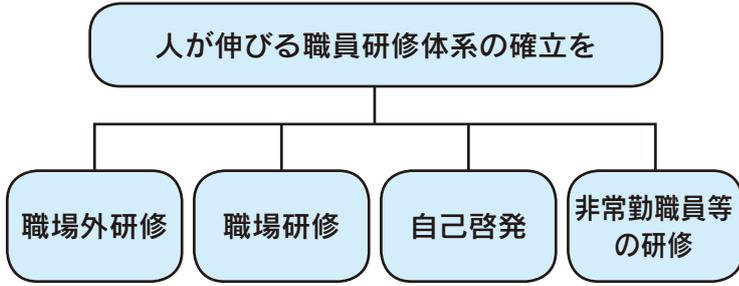
竹本信次議員

人間性豊かで町民に信頼される職員を目指した人材育成の構築を!!

答 本年4月より地域と職員の連携を目指した1区1職員制度をスタートさせる

問 町民の信頼と期待に応えられる職員となるためには、地域課題を自ら見つけだし、組織として何を行ううべきかを考える能力や発生した課題の解決にあたり、常に町民側の視点に立ち、職員間で協力し合いながら、良案を導き出す能力の育成が喫緊の課題では。

答 (町長) 本年4月から、住民の声を反映させた行政運営を行うため、地域に職員を割り当てる1区1職員制度をスタートさせ、地域と行政の連絡調整や地域内の状況把握を行い、地域の皆様が安心して暮らせる協働のまちづくりを目指したい。



問 意識の向上が必要であり、非常勤職員等の研修、職場外研修のそれぞれの特性を踏ま

答 (町長) 研修実施については、人材育成基本方針に基づき職員研修体系を構築する。研修対象者を選定し、自庁研修や職場外研修の区別を図り実施している。

答 (町長) 研修実施については、人材育成基本方針に基づき職員研修体系を構築する。研修対象者を選定し、自庁研修や職場外研修の区別を図り実施している。

え、各課の役割に応じた研修体系を段階的・体系的に整備すべきだ。



企業と連携し活力あるまちづくりを

長洲町企業連絡協議会(仮称)設立の時期は!! 企業連絡協議会を本年5月に立ち上げる

問 長洲町の企業と連携強化を図るための長洲町企業連絡協議会(仮称)は本年何月に立ち上げるのか。



遊歩道に灯りを

答 (町長) 企業連絡協議会を5月に立ち上げ、研究会や情報交換会、関係機関からの情報を企業等へ周知するメールマガジンのシステムの構築も考えている。

答 (建設課長) ソーラーは蓄電の容量が厳しい、タイマー設定等については今後検討したい。

名石浜遊歩道ソーラー付き街路灯に灯りを!!

3月末には工事完了

問 姫ヶ浦から名石浜にある遊歩道のソーラー付き街路灯が長期間故障したままだが現状と対策は。費用対効果を考えタイマー付きLED街路灯に換えたらどうか。



元気に育ってるかな(3カ月児健診)



荒木睦子議員

母子保健推進員さんの目的と活動状況は 答若いママの孤立化を防ぎ、共に子育てを

問 子育ての親の支援として、母子保健推進員さんの存在は心強いものである。その目的と活動状況は。

答 (町長) 妊婦、乳児、家庭訪問事業がある。子育て中の母親の孤立化を防ぎ、子どもが健やかに育成できる環境整備を図ることを目的とする。

問 母子保健推進員さんは、どの時期から関わりをもち、何歳まで支援、指導をするのか。

答 (福祉保健介護課長) 乳幼児健診3、4カ月から、7カ月、1歳半、それと3歳健診までである。推進員さんの家庭訪問は何回か。

答 (福祉保健介護課長) 妊婦訪問124名、乳児115名が平成24年度の実績で、25年度は妊婦訪問125名と乳児訪問140名の状況である。

問 障がいを持った子どもさんの支援、助言及び医療機関との連携は。

答 (福祉保健介護課長) 発達障がい児の早期発見ということ、健診の際に保健師が聞き取りや相談、臨床心理士の先生の専門的アドバイスをいただき、医療機関に結びつける対応をとっている。

の方で黄色く階段を塗られており、現在は消えている。簡単な修繕など含め、町のほうで行って安全確保に努めていきたいと考えている。

問 将来的に駅舎の建て替えの考えは。
答 (建設課長) J Rの所有であるため、今後、J Rと相談していく。

駅舎の階段整備の対策は

J Rと協議の上取り組み

問 駅舎の階段利用に不便さを感じる高齢者の方々にに対し、整備をどのように考えているか。

答 (町長) 専門業者に発注し、滑りどめ効果のある施工を考えている。

問 幾度となく取り上げられた質問に対し、改善されたのか。

答 (建設課長) 駅舎は昭和57年9月に完成し、30年が経過しており、階段利用に不便だとの声を聞き、数年前、ボランティア



高齢者へ配慮を



磯野 博議員

給食費未納の責任の所在は

答 あくまでも私費としてお願いしている

問 食育基本法、学校給食法、これらは互いに深く結びついている。本町の学校給食の取り組みは。

答 (教育長) 本町は平成20年度から荒尾市給食センターに給食の業務委託を行っている。給食費については、4月からの消費税アップに伴い、1食単価、

小学校 225円 ←
 245円
 中学校 260円 ←
 285円
 に改正する。

問 給食費未納者のために食材の分量減少や、3月の調整月で給食費が増加したなどのことはないか。

答 (学校教育課長) 本町では24年度未納はゼロだった。25年度も2月分まで全納となっている。本町のみでそのようなことはない。

問 本町の給食費累積滞納の状況は。

答 (学校教育課長) 荒尾市に委託してからも年間十数万の滞納が残っている。

問 悪質な滞納者への法的手続きは。

答 (学校教育課長) 給食費を徴収する組織は長洲町学校給食費徴収要綱の中で定められている。そのなかで法的

的手続きはとっていない。

問 今後の法的手続きは。

答 (学校教育課長) 給食運営委員会の中で協議をしていく。



みんなでおいしくいただきます

危険なソフトをダウンロードする可能性は

問題はない

問 パソコン等での個人情報漏えいトラブルは発生していないか。

答 (町長) 企業や公共機関でウェブサイトの改ざん、パソコンからの個人情報漏えい等ニュースで取り上げられている。本町では庁舎内端末全てにセキュリティソフトを導入し、管理権限者以外はインストールできない。現在まで問題は発生していない。

答 (学校教育課長) 学校のパソコン全てに有害サイト規制フィルタリングを施しており、不適切なサイトに接続できないようになっている。



個人情報満載 役場のパソコン



長洲マラソンを盛り上げよう



浦辺朝章議員

ジャパンスポーツネットワークとは

答 スポーツ界全体が連携協同する

問 町長は、ジャパンスポーツネットワークの共同宣言に署名されたが、この宣言の主旨と目的は。

答 (町長) 2月に、国立霞ヶ丘競技場で、日本スポーツ振興センターと共同宣言調印を行った。これは、スポーツの力で、子供たちや若

者が夢を持てる国、輝く未来をつくることを目的とし、スポーツ界全体が連携、協同するネットワーク。現在、全国で549団体が宣言に賛同している。

問 長洲マラソン大会や駅伝大会が開催されているが、参加者が少なく盛り上がりに欠けている。町のス

ポーツ振興をどのように考えるか。

答 (教育長) 長洲マラソン大会の参加者は253名、そのうち町からは、長洲中・腹栄中からの6名のみ。駅伝大会も年々参加チームが減っている。このため楽しくタスキを繋げようと

24年度からフレンドシップ部門を設けた。スポーツ環境が変化する中、時代に応じた各スポーツ事業の見直しが必要。子どもから高齢者までの体力づくり、健康づくり、元気づくりにより一層取り組んでいきたい。

いじめ根絶の施策は

命を大切にすることを育む

問 小中学校におけるいじめと不登校の現況はどうか。また、いじめ根絶にはどのような施策をとっているか。

答 (教育長) 不登校については、小学校では先生、保護者の協力では解消し

ている。中学校では、複数名いるが、常に学校からのサポートを受けている。今年度から、自立支援員を任用し、学校教諭と協力しながら家庭訪問など行っている。いじめ根絶については、命を大切にす

を育む指導や、学級活動及び生徒指導等を行いながら、いじめのない学校づくりを推進している。また、教職員の細やかな対応により、早期発見、早期対応を行っている。

問 学校における児童生徒の最近の状況は、良好か。

答 (教育長) 腹栄中学校では、来年度に向け生徒指導の強化をしている。長洲中学校では、落ち着いた環境の中、学力向上に努めている。



地域で見守る児童生徒



樋口エミ子議員

指定管理者に移行する未来館 期待できる効果は 民間事業者のノウハウを活用したサービスが提供できる

問 平成9年、文化芸術の振興として、また情報発信の交流拠点として建設された未来館。18億5000万円という巨額の費用を投じられたが、この4月から民間へと移行する。そこで次の4点について質問をする。

- ①住民サービスなど期待できる効果は。
- ②今までの町選出の運営委員会等の体制は。
- ③自主事業は、必須事業を教育委員会で指定できるのか。
- ④管理運営の詳細、リスク分担の協定内容は。

答 (教育長)
①期待できる効果は、具体的なものとしては、

- ① 期待できる効果は、具体的なものとしては、
- ② 今までの町選出の運営委員会等の体制は、
- ③ 自主事業は、必須事業を教育委員会で指定できるのか。
- ④ 管理運営の詳細、リスク分担の協定内容は、



ますますの文化振興を

問 町の子どもたち、児童生徒に生のクラシック演奏を体験させてやりたい。町の施政方針、教育方針にも

夢と希望、生きる力を、たくさん盛り込まれている。具体的に子どもたちにそういった夢を持たせてあげたい。質

町の子どもたちに生のクラシック演奏の鑑賞体験を

子どもたちの情操教育には必要だと思っている



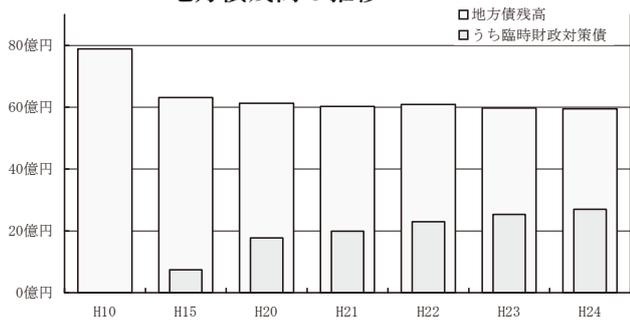
子どもたちに生の音楽を

答 (町長)
質の高いアーティストの演奏など、幼少

の高い芸術、音楽を授業の一環としてできないものか。

のころから聞くというのは情操教育にとっても非常に大事だということ。思いは同じである。このような行事ができるよう努めていきたい。

地方債残高の推移



借金はなくなるか

町長の借金残高は59億円、町民一人当たり換算すると36万円である。私たちはこの現実をどう受けとめればよいのか。

問 町の借金が59億円、町民一人当たり換算すると36万円である。私たちはこの現実をどう受けとめればよいのか。

答 (町長) 地方債の残高については一一般会計は平成23年度に比べ2606万円減少している。一人当たりの地方債残高は県内45市町村中40番目と低い。地方債の残高の合計を県民数で割った一人当たりの借金は約47万円、それと比べても低い。現在の町債借入れについては地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づく実質公債比率が平成24年度決算において18・5%と依然と高い状況で後年度に交付税が措置される地方債

上の借り入れは極力抑えている。
問 特別会計を含んだ借金はいくらか。
答 (総務課長) 地方債の残高は平成24年度末で944万円、町民一人当たり約86万円となっている。
問 借金の負担を若い人にはかけられない。借金0が理想だが今後の取り組みはどうなるか。
答 (総務課長) 将来のある若者に負担をかけられないとの心配だが地方債は道路など後世にわたって使用するものを建設する場合に限り借り入れることが認められている。施設を利用していく将来の町民にも負担してもらい世代間費用の負

担の公平を行うものでこれが0にはならない。
問 町で一つの事業を起すときには、起債が必要だということとは議員も町民もわかっている。町債借入れの今後の方針は。
答 (総務課長) 安全安心にかかわるものについては、条件は選んでおれないが、平成26年度においても、交付税措置がある有利な起債を借入れ、事業展開を図る予定である。
問 国の借金も一人当たり984万円ある。どう思うか。
答 (町長) 危機感を感じている。町としては議論を踏まえ借金をしないまちづくりを目指して邁進する。



宮本哲太郎議員

町の借金は先々どうなるのか 答 地方債以外は借り入れを抑える

フリーターの生活安定はどうする

正規雇用の拡大をはかる

問 フリーターについて町はどう考えるか。またその実態はどうか。
答 (町長) データがない。ハローワークや若者サポートステーションとの連携をとっている。



働く所はあるけれど



市原一広議員

「誰でも参加」の健康マラソン大会を

答 活気あふれる町づくりを目指し、開催を考えたい

問 熊本城マラソンに
出場された町内の
方の応援に行き、その
素晴らしさに感動を覚
えた。まさに「老若男
女」、参加される方も
沿道で応援される方も
大会運営のスタッフの
方も一体となったス
ポーツイベントと感じ
元気をもらって帰った。
本町では毎年1月の競

技スポーツとしての「長
洲マラソン大会」は開
催されているが、「遅い
あなたが主役です」の
健康マラソンは実施さ
れていない。健康の維
持増進のため走り始め
る方が増加することに
より、スポーツの推進
ひいては、町の活性化
へ結びつくと考える。
ぜひ、実施してほしい。

1月の「長洲マラ
ソン」は、今年で38回
目を迎え、地域の記録
会として競技性の高い
大会として町外から多
くの選手が参加してい
るが、町内者は年々減
少し、今年も6名の参
加だった。健康マラソ
ンについては、健康づ
くりのためランニング

答 (町長)
をする人の数も増えて
おり、熊本城マラソン
や近隣で開催されてい
る健康マラソンもにぎ
わいを見せている。本
町でもスポーツを通し、
にぎわいのある、活気
あふれるまちづくりを
目指し、大会開催の可
能性を探っていきたく
い。

をする人の数も増えて
おり、熊本城マラソン
や近隣で開催されてい
る健康マラソンもにぎ
わいを見せている。本
町でもスポーツを通し、
にぎわいのある、活気
あふれるまちづくりを
目指し、大会開催の可
能性を探っていきたく
い。

事案も町内の中学校で
発生している。携帯・
スマホの使い方につい
ては、PTAと協力し
ながらルールをつくら
ていきたい。

問 いじめの未然防止
や早期発見には、
先生方の「子どもと向
きあう時間の確保」が
必要と思う。先生方の
事務量や負担の軽減
に取り組んでほ
しい。

事案も町内の中学校で
発生している。携帯・
スマホの使い方につい
ては、PTAと協力し
ながらルールをつくら
ていきたい。

答 (教育長)
員会等を設置してはど
うか。

長洲中ではいじめ
防止の宣言をしていく
とのこと。生徒会が中
心になっていじめを絶
対許さないという気運
を高めていけば、いじ
めはなくなっていくの
ではと思う。



活気ある町へ

携帯・スマホによる「いじめ」や 犯罪被害の防止を

問 携帯・スマホによる
いじめや犯罪被害が深刻な
問題になっている。ラ
イン・書き込み・学校裏
サイト等、ネットいじ
めや犯罪被害の恐さを
学校や家庭で教育して
いく必要があると思う。

答 (教育長)
実際、LINEが
原因ではないかという

現在では特別支
援員、自立支援員
も配置しており、
その分でも負担の
軽減が出来ると思
う。

問 学校の中に、
ふれあい箱の
設置や、生徒会に
よるいじめ防止委



犯罪等に巻き込まれないための教育を



雨の日水たまりが出来る農道

問 農道の維持管理、補修等はどのようなのか。

答 (町長) 平成26年度より、多面的機能支払交付金として制度設計の見直しが予定され、農業者のみの活動組織でも取り組める活動があり、その活動内容には農道の維持管理も含まれており、今まで地域住民を構成員とする要件等の事情により、活動に取り組みなかつた地域も今後は取り組みやすくなる。

問 町長は農業振興に努力されているが、トマトハウス周辺の道路状況はどうなのか。

答 (町長) 町管理準用河川は高田川、宮崎川、赤田川があり圃場整備完了地区内にあり地元の方の協力を得ながら、町もできる限りの管理をしている。県の管理河川は10年前から、県と町、町と地元区で河川環境美化業務委託をし、3区1水利組合が河川の護岸の除草、ごみ回収作業を受託されている。



散歩も出来ない堤防



徳永範昭議員

農道の維持、管理は誰が行うのか

答 基本は農業者自らで機能管理を行う

問 農道の維持管理、補修等はどのようなのか。

答 (町長) 平成26年度より、多面的機能支払交付金として制度設計の見直し...

おり、今まで地域住民を構成員とする要件等の事情により、活動に取り組みなかつた地域も今後は取り組みやすくなる。

問 町長は農業振興に努力されているが、トマトハウス周辺の道路状況はどうなのか。

答 (町長) 町管理準用河川は高田川、宮崎川、赤田川があり圃場整備完了地区内にあり地元の方の協力を得ながら、町もできる限りの管理をしている。県の管理河川は10年前から、県と町、町と地元区で河川環境美化業務委託をし、3区1水利組合が河川の護岸の除草、ごみ回収作業を受託されている。

問 河川敷の除草と環境整備は。

答 (町長) 町管理準用河川は高田川、宮崎川、赤田川があり圃場整備完了地区内にあり地元の方の協力を得ながら、町もできる限りの管理をしている。県の管理河川は10年前から、県と町、町と地元区で河川環境美化業務委託をし、3区1水利組合が河川の護岸の除草、ごみ回収作業を受託されている。

問 日本型直接支払制度の内容は。

答 (町長) 農業、農村の持つ多面的機能の発揮のため多面的機能支払とする。

問 水田フル活用と米政策の見直しとは。

答 (町長) 食用米偏重でなく、麦、大豆、飼料米などの需要のある作物の生産を振興。

問 経営所得安定対策が見直されるようだが。

答 (町長) ナラシ、ゲタ対策は一律の規模要件を外し、意欲ある農業者が参加出来る。



福永栄助議員

向野区にある道路(里道)の坂道の崩落の状況について

答 地元区長や関係者の方と協議し、早急に対応していきたい

問 どのような経緯のもと移譲され、また、これまでの管理は十分であったのか。

答 (町長) 法定外公共物(里道等)は道路法などの管理に関する法律の適用または準用を受けないものをいい、昔から農道として地域住民等によってつくられ、公共の用に供されたもので、明治初期の地組改正に伴う官民区分の実施により、国有地に分離された。平成17年、国有財産であった里道・水路の法定外公共物が町に譲与された。町が財産管理をし、機能管理等は地域住民の公共の用に供しているため、地域、地元で管理をお願いしていると

ころだ。これまで区から修繕の要望があり、その都度、町が機械、生コンなどを提供し、区で行っている。

問 私が、問題にしているのは、坂道の崩落の現状である。

答 (建設課長) 最初、地元の方で、その後、材料を3回支給し、区役で対応されたと聞いている。

問 3回の区役で修繕されたが、今の状況である。町の管理条例の第7条で「使用者は本来の用途又は安全が損なわれないよう維持管理をしなければならぬ」を根拠に地元にお願しているわけだが、区役では無理だ。しっかりとした擁壁をつくり、その上で路面

を整備すべきだ。万一火災が発生したら、どうする。防災のプロとして。

答 (副町長) 現場を確認したが、確かに防災上は問題のある道路と認識している。

問 町は地域経営をしている。地域を経営するに当たって、その第一義目的は何か。その地域に定住する住民の安定した豊かさを築くことが第一義目的ではないのか。

答 (町長) 今まで原材料で対応できたものと町が本格的に工事をやらなくてはならない部分を見きわめ、早急に対応していきたいと考える。



住民に安定した豊かさを



使用できない車イス利用者のための入口



濱崎 久議員

障がいのある人が長洲駅を利用できるように整備してはどうか 答現在のところ厳しい

答 (町長)
駅のバリアフリー化は、JR九州の理解と、国と協議が必要だ。国は1日の利用者が3千人以上の駅を目標としてるし、当町は半

分だ。町の財政事情もあり厳しい。

問 せめて車椅子の住民が上りのホームを利用できるように。(まちづくり課長)
JRと協議する。

新山海岸線対策、新山区に迷惑かからないか

県が責任持つと思う

問 この土地は民有地で固定資産税の対象にもなっているし、国土調査もなされている。所有権者全員の承諾を受けずに、移転登記後問題が発生した時、新山区に責任が問われることはないか。

答 (建設課長)
今の状態でわからない。

問 住民に迷惑かけない街路樹の管理を、特に大明神、大塩さんの前のクスノキは、正に電線を飲み込み大木化している。新塘の大木等、住民は困っている。

答 (建設課長)
引き潮までの時間はわからない。

問 川改修が行われた。主に荒尾の利害によるもので当町はその排水の被害をこうむってきた経緯もある。満潮時に雨水対策は万全か。

答 (建設課長)
引き潮までの時間はわからない。

問 国保税資産割の是正について、先の議会で提言したがどう対応したか。

答 (福祉保健介護課長)
資産割は4300万円程度だ。検討する。

問 観光の目玉金魚池排水対策は検討されたか。

答 (町長)
地域の水路を地元の人と確認した。

問 名石浜、有明の浄化槽汚泥対策は。

答 (町長)
町の責務で処理している。

問 町道横塘線は、36年前から改善を訴えられている。特に杉野養魚場前の、雨水排水溝はヒドイ。通学路でもあり早急に対策を。

答 (町長)
地域からの要望を聞き対応する。

問 通称501号の北上道路計画はどうか。

答 (町長)
有明海沿岸道路は計画段階だ。



早急に対策を!!



福本みや子議員

高齢者へやさしい窓口対応を

答 わかりやすく丁寧に努めたい

問 後期高齢者の呼び方が被保険者証の受け渡しに配慮しているか。

答 (福祉保健介護課長) 来庁者には手続きが一度で済むよう制度案内、ジエネリック医薬品カード、口座振替手続き等書類を窓口で説明して渡している。来られない方には、自

宅へ持参し、不安にならないよう丁寧な説明を心がけている。

問 年々増加する後期高齢者の医療費に住民の関心を高めるような窓口での伝え方をしているか。

答 (福祉保健介護課長) 職員間で危機意識を共有し、より一層工夫や提案、研修等を積

極的に推める職場づくりを心がけている。

問 長年の御苦労への敬意と感謝の気持ちを添えて、町民目線のきめ細やかな対応の工夫も今後検討する。

答 (福祉保健介護課長) 工夫としてはどうか。配付物入れのファイルや保険証入れなどの工夫も今後検討する。

学童保育の指導員の役割は

安心安全な見守りに徹する

問 清里小学校の敷地内での学童保育が始まり、4校とも、下校後の見守りの場があることに保護者は助かっている。指導員の業務内容は。

答 (子育て支援課長) 児童の健全な育成と、保護者の仕事と子育ての両立を支援する目的で実施している。適切な遊びや基本的生活習慣の指導、宿題な

どを進んでするよう指導、その日の様子など家庭との連絡、情報交換を行っている。円滑な運営のために、定例会議での情報交換や研修会に参加して学びを生かしている。

問 指導員としての役割の重要性や指導方針は充分説明しているのか。

答 (子育て支援課長) 子どもたちにとつ

て家庭にかわる大事な生活の場の環境を整え、状況を把握し、子どもの意見を尊重する方針を説明し、安心安全な見守りの共通認識を図っている。

答 (子育て支援課長) 下校や行事、運動場の利用など常に確認している。緊急連絡も子育て支援課と小学校とは特に重要視し実施している。

後期高齢者?!



元気・感謝!!

活習慣の指導、宿題など

子どもたちにとつ



おもいおもいの学童保育のひとつ

総

わが国は、脆弱国土で、巨大台風・地震に備えるための防災・減災対策は必須であり、高度成長期に集中整備されたインフラが一斉に耐用年数を超えることから老朽化対策も必要である。今後は電子防災情報システムの整備を強化し、災害対応の迅速化、円滑化を図っていく方針。

いわき市地方振興局

総

津波により、約8000戸が全壊被害、原発事故の影響で2万人3千人がいわき市内に避難したことから、より住宅の需給が逼迫、急激な人口増、医療サービスの機能低下、就労不安、所得格差等さまざまな問題に立ち向かう職員に負けない覚悟を感じた。

建

震災で商店街が壊滅的状況となり、住民の生活再建のため、県や市の補助・支援のもと、久ノ浜小学校校庭に仮設商店街(日本初)を再建。浜風商店街として現在も営業中である。強い思いと行動力があれば、再建の道も拓かれることを強く感じた。

浜風商店街

建

震災後のインフラ復旧・復興の進捗状況の説明を受けた。復旧・復興は、現在進行形で、海岸・漁港・復興住宅対策・土地区画整理等に遅れが生じている。また、住宅再建や高台移転に向けた取組みは、地域住民との調整が円滑に進むかが最大の課題。今後、復旧・復興の加速化措置を講じること。

東日本大震災から3年が経過して……

それぞれの視点から……



1/20~1/22 常任委員会視察研修報告

総

いわき市社会福祉協議会

震災直後からのボランティア活動内容の説明を受けた。福島復興のために支援する人も受ける人も知恵をだし、活動することが重要という職員の話に強く共感を覚えた。

とまとランドいわき

ガラス温室を活用し、低農薬でビタミンCやリコピンが通常の2倍近いトマトを生産。福島県産という風評被害で作っても売れない状態が続いたが、地道な努力で、農林水産大臣祭天皇杯を受賞。

建

山六観光本店(薄磯海水浴場付近)被災地視察)

山六観光本店店主より、実際に津波が迫りくる様子の話を聞くことができた。その集落では、地震による建物の倒壊で、道路がふさがれたことにより避難できず多くの犠牲者が出たとのことであった。

3・11被災者を支援するいわき連絡協議会(みんぷく)

みんぷくでは、実際に被災された生の声として、被災直後はどうすべきか、どのくらい自力で生き延びることができるか、防災グッズや保存食、被災後本場に役立つものは何か等、身をもって体験された教訓を学んだ。

まとめ

今回の視察では、想定外の災害は、防ぐことはできないが被害を減らすことはできる。また、その後の復旧や復興のスピードも加速させることができることを学んだ。いつか起こり得る災害時まで、町がどれだけの減災措置を講じられるか、議会も知恵を出し、今後の施策検討の中で、町民の生命と財産をいかに守り得るかを常に考え活動していく。

町民のひろば

傍聴席から一言



上野 美登 (平原区)

午後の議会開始10分前。傍聴席につきました。町政のリーダーシップをとる皆様の議会に望まれる姿勢をじっくりと観察させていただきました。熱い質疑・答弁が繰り広げられ、まさに新人町議の町民目線にたった質問に親近感がわきました。日々変化し続ける町民のライフスタイルに町議の思いは冷めることなくたくさんのアンテナをはって町民と共にあってほしいと願います。

長洲に嫁いで約10年、素敵な出会いにも恵まれ、私は長洲に住んでよかったと感じています。一人でも多くの方がそう感じられる町づくりを期待します。また機会があれば是非傍聴したいです。

町民の声



みんなのうた会 (新山区)

老若男女誰でも参加でき自由気ままに歌える会を立ち上げようと思ったのが4年前の平成22年5月でした。当初は歌詞本作りや、伴奏者、参加者数等に胸を痛めていましたが、継続は力なりの諺を信じて今日まで続けてまいりました。

昨年5月の3周年には熊本、荒尾、大牟田から応援隊が参加して新山集会所は満杯となりました。20名前後の高齢者や独り暮らしの人たちが主体となって古い歌、懐かしい歌、時には斬新な歌もリクエストして歌っています。本会は上手下手には、関係なく大声で歌うことが本旨であり、誰でも自由に参加でき毎月第3土曜日、午後1時30分より開催しています。

連絡先 新山区 大久保祐教

ひと言

木々の若葉が目前に広がる編集室の窓から、今年PM2.5や光化学スモッグやらの注意報まで飛び込んできます。3月定例議会を終え、編集会議も回を重ねる毎に、要領を得、より分かり易く、親しみのある紙面作りへと意欲が沸きます。

本号は26年度予算への、新人・ベテラン議員の熱の入った審議のやり取り、町民の声の代弁者としての3日間に亘

って練り広げられた一般質問。町民に見える議会として「伝わったよ」といえる広報をめざします。
(福本)

皆さん傍聴に出てこんわ!

次の定例会は
6月19日(木)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先
議会事務局
電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

発行責任者

議長 松井一也

委員 市原一広

委員 磯野博

委員 荒木睦子

委員 大森秀久

委員 福本みや子

副委員長 竹本信次

委員長 徳永 範昭

広報委員

徳永 範昭

竹本 信次

福本 信次